ゾンビ中小企業と生産性[i]

大阪大学大学院生　今井健太郎[ii]

要旨

ゾンビ中小企業の生産性と、ゾンビ企業への設備投資がその企業の生産性に対しどのような影響を与えたか個表データを用い分析を行った。結果ゾンビ中小企業は生産性の伸びが全体に比べ低く、同時に設備投資が生産性に対し有意な影響を与えていなかった。これらのことはメインバンクがゾンビ企業を生ながらえさせる事で、日本経済の生産性が下がり、かつ生産性に寄与しない非効率な投資を生み出したことを示唆するものと思われる。

[i] 本論文の作成に際し、大阪大学社会経済研究所所長小川一夫教授に温かいアドヴァイスをいただきました。記して御礼申し上げます。なお本稿にありうるべき誤りは当然私に期します。

[ii] fge002ik@mail2.econ.osaka-u.ac.jp